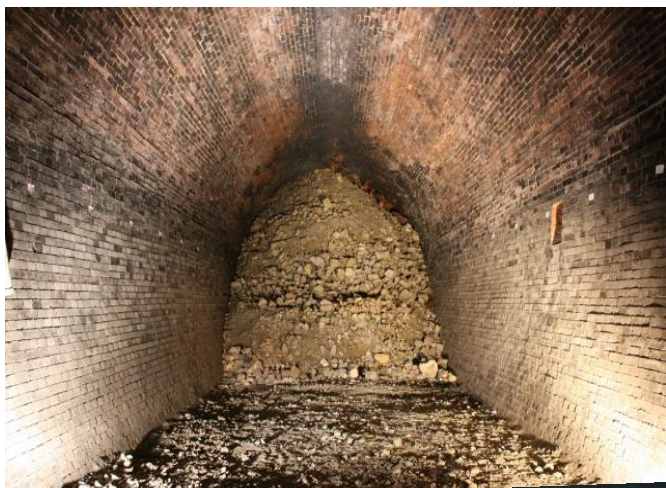


大和川河川事務所

Yamato River Office

～事業概要（令和3年度）～



「龍田古道・亀の瀬」日本遺産認定

目次



■令和3年度一大和川河川事務所 事業概要	1
■大和川の特徴	2
■大和川をよりよくしていくために	5
■地域の皆さんに誇りと思ってもらえるように	11
■事務所職員の仕事	13
■管理区間、組織	18
■所在地	19

大和川コンクール入賞作品
タイトル：ぼくの大好きな景色



大和川コンクール入賞作品
タイトル：夕日で輝く大和川



大和川コンクール入賞作品
タイトル：大和川とはるか



令和3年度-大和川河川事務所 事業概要

下流域

■河川改修事業

対策内容： 侵食対策、浸透対策、築堤

■高規格堤防整備事業（阪高大和川線地区）

対策内容： 高規格堤防盛土、耐震対策矢板
まちづくり整備（宅地整備等）



※令和3年度時点のものであり、今後変更となる場合があります。

中流・上流域

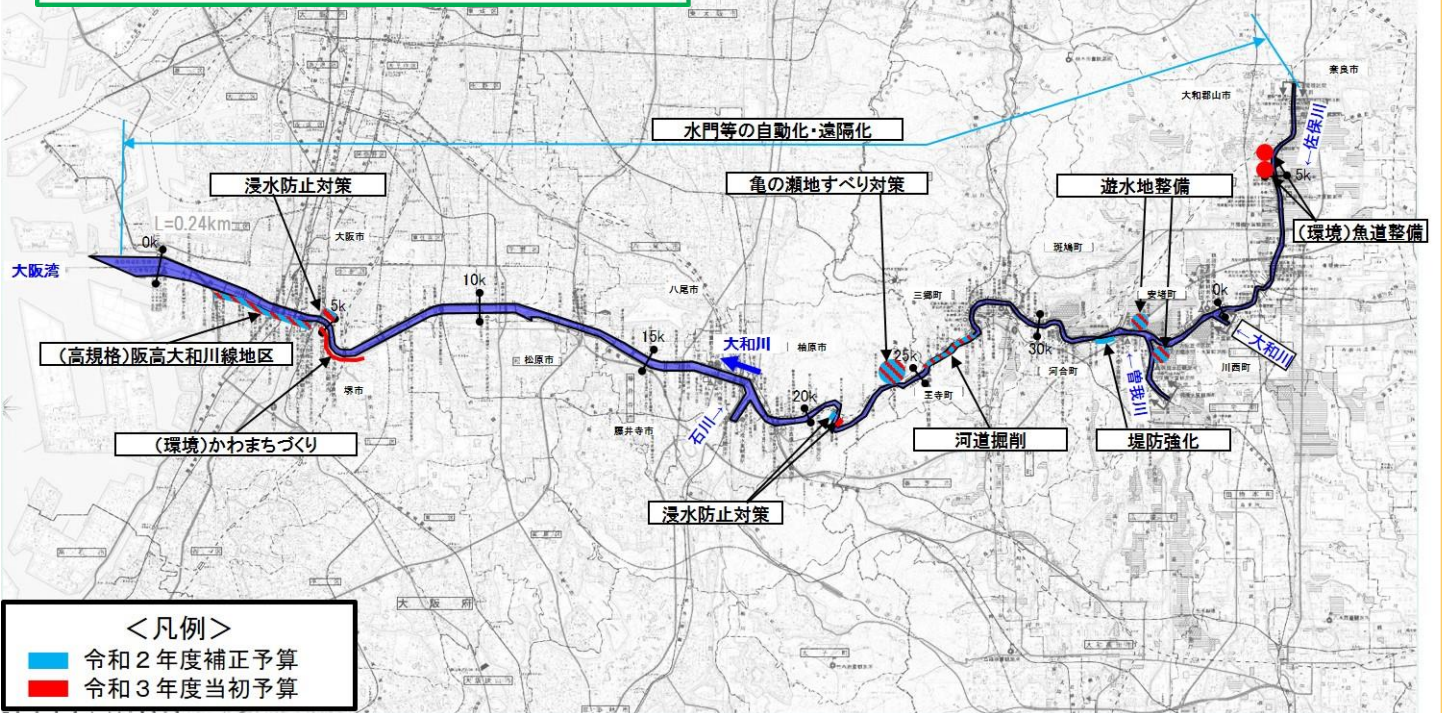
■大和川中流域強靱化事業※

対策内容： 河道掘削、築堤、遊水地整備、
佐保川改修等

※河川改修事業、総合治水対策事業の切り出し



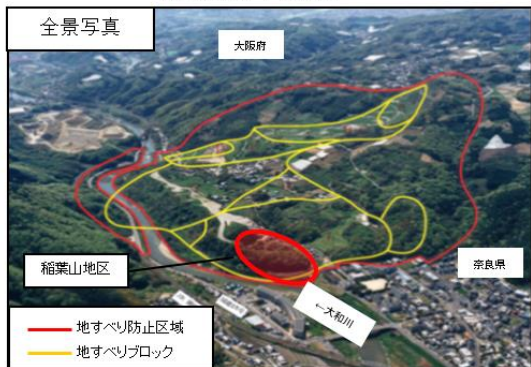
※令和3年度時点のものであり、今後変更となる場合があります。



狭窄部

■亀の瀬地すべり対策事業（稲葉山地区）

対策内容： 抑止工



※令和3年度時点のものであり、今後変更となる場合があります。

事業勘定	R3当初予算 (百万円)	R2補正予算 (百万円)
一般河川改修費	2,721	2,170
河川維持修繕費	616	357
総合水系環境整備事業費	167	0
河川都市基盤整備事業費	2,446	2,360
砂防事業費	589	200
合計	6,539	5,087

※事業勘定＝工事費、用地補償費とそれに伴う間接費
※速報値であるため、多少変動する可能性があります。

大和川の特徴

大和川は、奈良県の笠置山地に源を発し、奈良盆地から亀の瀬狭窄部を経て大阪平野を西流し大阪湾へと注ぐ一級河川です。その流域は、38市町村におよび、流域内人口は約215万人、氾濫区域内人口は約300万人となっています。

大和川流域では、昭和57年8月の大水害をはじめ、近年においてもしばしば水害を経験するとともに、水質の面では国が管理する全国の一級河川の中で過去にワースト上位だったこともあります。現在は関係市町村・奈良県・大阪府と協力して、治水対策と水環境の改善などに取り組んでいます。

古代国家の成立期に大きな役割を果たした「母なる川」です

大和川流域は大和川によって形成された肥よくな土地で人々が生活を営み、大和川からもたらされる水を使って耕作を行い、生活の基盤を築いてきました。古墳時代から飛鳥時代、奈良時代にかけて日本の政治・文化・産業の中心地として発展してきました。

大和川は交通路としての機能も担い、都を造るときには大和川を使った舟運により人や物資が輸送されました。また、隋からの使節が大和川を航行し、東アジア文明の文物や仏教の伝播など、大きな役割を果たしました。

さらに、かんがいの発達や条里制の施行とともに、奈良盆地ではため池が築造され、支川の流路が整えられました。初瀬川・飛鳥川・曾我川などは、現在も川の形状にその名残を残しています。



沿川には、大阪市、堺市、柏原市、奈良市、大和郡山市、橿原市などが位置しており、日本有数の「都市河川」です

沿川の下流部には、近畿地方の行政・産業・交通等の主要機能の集積地域である大阪市、堺市などがあります。中上流部には、文化的・歴史的資源に恵まれ、京阪神大都市圏の近郊地帯として発展がめざましい奈良市などがあり、日本有数の都市河川です。



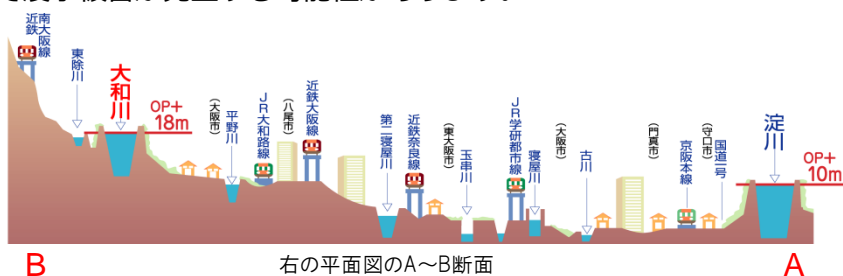
阪神高速大阪堺線橋梁付近



JR大和路線第二大和川橋梁付近

下流部の大阪府域では、大和川は標高の高い位置を流れています

下流部の大和川は、柏原地点から北上し淀川と合流していましたが、江戸時代に淀川と分離され流路を西向きに付け替えられたため、大阪平野の高い位置を流れています。そのため大和川がはん濫すると、大阪平野の広い範囲で浸水被害が発生する可能性があります。



奈良盆地では放射状に広がる多くの支川が本川である大和川に集中して合流します



四方を山地に囲まれ、お皿のように真ん中が窪んでいる奈良盆地

奈良盆地の大和川は、放射状に広がる156本の支川が奈良盆地で合流し、1本の流れとなり、生駒・金剛山地に挟まれた亀の瀬を抜け、大阪へ流れます。

奈良盆地は低い山なみに囲まれ、平野部が窪地となっている典型的な低平地です。また、亀の瀬が狭窄部となっており亀の瀬上流付近は、勾配の緩い地形特性と狭窄部の堰上げにより、洪水はん濫や内水浸水等の水害を受けやすい地形的特性を有しています。

狭窄部とは

上下流に比べて極端に川幅が狭くなっている区間です。川幅が狭いため、水が流れにくい特徴があります。亀の瀬地区は生駒山地と金剛山地に挟まれており、狭窄部となっています。

大阪府と奈良県の県境に日本有数の亀の瀬地すべり地帯があり、昭和37年から国の直轄事業として地すべり対策工事を実施しています



亀の瀬地区の全景

大阪府と奈良県の府県境に位置する亀の地区には、日本有数の地すべり地帯を抱えており、過去に大きな被害をもたらしました。

そこで、昭和37年から国の直轄事業として地すべり対策工事を進め、平成22年度末に主な対策工事を完了しました。また、平成26年2月に開催した「亀の瀬地すべり防止工事効果判定委員会」において、十分効果を発現していると意見を頂いております。現在は局所的な変異が見られる稲葉山地区において対策工事を進めています。

下流部は、江戸時代に付け替えられた人工河川です

大和川は江戸時代まで河内平野を北上し、淀川と合流していました。

宝永元年（1704年）に大和川を淀川から切り離し、柏原（石川合流後）から下流は西流させて、直接大阪湾に入るように付け替えられた人工河川です。

大和川の付替工事により、河内や摂津等の旧河道や池であった土地は耕作地となり、河内木綿などの生産地として生まれ変わりました。

大和川の歴史

江戸時代の宝永元年（1704年）に大和川は、大治水工事、大和川の付け替え（川替え）が行われました。それは、約310年以上前のことです。



大和川付け替え地点
昭和26年米軍撮影
元の川筋がはっきりわかる



現在の大和川付け替え地点
平成15年撮影



中甚兵衛：
(1639～1730)
大和川の付け替え事業を計画し
幕府と交渉した人物

写真：築留の治水記念公園に建つ中甚兵衛像

かつて大和川は江戸時代まで柏原から現在の八尾市・東大阪市あたりを流れて、大阪城付近で淀川とつながっていました。

1704年、度重なる大和川の洪水の被害を抑えるため、大和川を淀川から切り離し、柏原（石川合流後）から松原市・堺市あたりに向かって流れ、直接大阪湾に入るように付け替えられました。

付け替えを50年にわたり幕府に懇願し、大和川付け替えの中心的役割を果たしたのは中甚兵衛という人物でした。

付替工事は重機のない時代でありながら、わずか8か月ほどで完成させました。

大和川の付替工事により、河内や摂津等の旧河道や池であった土地は耕作地となり、河内木綿などの生産地として生まれ変わりました。

このような先人の大土木工事の功績により、現在の大和川の姿となりました。



大和川付け替え地図

先人達の偉業のもとに今の和歌山県の大和川があります

大和川をよりよくしていくために



大和川の治水の考え方

河川の整備は原則として下流部から整備していきます。上流から整備をすると、そこで溢れていた水が流下して、下流の浸水被害が増える場合があります。

大和川においても、下流から整備を進めています。また、大和川は亀の瀬狭窄部があるため、上流部の整備に着手するまでに多大な時間と費用がかかるため、**上流部の被害がなかなか解消されません。**

そこで、**洪水はん濫による被害を防止するため**

上流部（奈良県域）では、流域対策や遊水地等の整備

下流部（大阪府域）では、河道掘削・堤防等の整備を行っています。

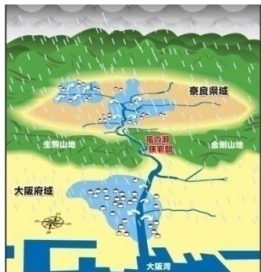
これにより上流部では、下流への流出を遅らせることができ、ピーク流量を低減することで流域全体の早期の治水安全度向上を図ります。

将来、下流部の河道整備が進捗し、所定の治水安全度が確保された後、亀の瀬狭窄部での対策を行います。

ここでは、下流部とは亀の瀬狭窄部より下流（大阪府域）を指し、上流部とは亀の瀬狭窄部より上流（奈良県域）を指します。

大和川の上下流バランスのイメージ

大雨が降ると…



上流部（奈良県域）や下流部（大阪府域）で氾濫する可能性があります。

上流部から整備すると



上流部のはん濫がなくなる

下流部の被害が大きくなる

下流部から整備すると



上流部の被害軽減に時間がかかる

亀の瀬狭窄部における対策

下流部の被害がなくなる

河道の掘削、築堤、橋梁架替等

下流部（大阪府域）では河道掘削・堤防等の整備を実施

地盤、地下水の監視
将来の対策を見据えた技術的知見の蓄積

上流部（奈良県域）では総合治水として流域対策や洪水調節施設等の整備を実施

大和川中流域強靱化事業を実施中

大和川中流域強靱化事業は、大和川遊水地の整備と河川改修によって、大和川中流域である奈良県域の治水安全度をバランス良く向上させ、国土強靱化を図る事業です。

遊水地整備により河川改修が可能になりますが、両者をバランス良く進める必要があります。現在は第1期として大和川遊水地（保田地区、窪田地区）、藤井改修、長安寺改修に取り組んでいます。

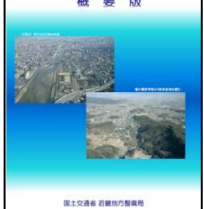


※令和3年度時点のものであり、今後変更となる場合があります。

大和川水系河川整備計画を策定

大和川水系において今後概ね30年間における河川整備の内容をとりまとめた「大和川水系河川整備計画（国管理区間）」を平成25年11月28日に策定しました。

大和川水系河川整備計画
概要版



詳しくは、大和川河川事務所ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/about/seibi/>

大和川をよりよくしていくために



大和川流域治水プロジェクト

住民・企業・行政・流域のあらゆる関係者が協働で対策を進めていきます。

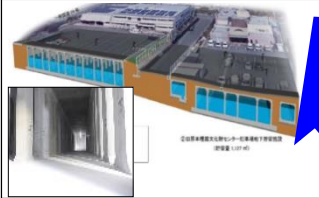
流域治水とは、気候変動の影響による災害の頻発化・激化に対応するため、抜本的な治水対策として、河川・下水道等の管理者だけでなく、流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策の考え方です。大和川では、流域治水の推進を目的として、「大和川水系流域治水プロジェクト」を令和3年3月に策定しました。また、令和3年4月28日に「流域治水関連法」が成立し、流域治水の実効性を高める法的な枠組みも整備されました。「大和川水系流域治水プロジェクト」をもとに流域治水対策を進めていきます。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防整備、河道掘削、遊水地整備、高規格堤防整備、堰改築、堤防強化対策等
- 下水道等の排水施設等の整備
- 雨水貯留浸透施設等の整備、ため池や田んぼの治水活用
- 利水ダム等7ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- 地すべり対策、砂防事業、森林の整備・保全等



(大和郡山市)ため池治水利用施設



(田原本町)駐車場地下貯留施設

● 被害対象を減少させるための対策

- 大和川流域における総合治水の推進に関する条例(奈良県)による取組の推進(特定開発行為に対する防災調整池等の設置等、市街化編入抑制区域の指定等)
- 開発行為に対する流出抑制対策指導(大阪府及び流域市町村)等

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 流域の河川情報を一元化しホットラインを強化
- 水害リスク空白域の解消
- ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- 掘削土等を活用した防災拠点整備
- 新技術を活用した越水・漏水の感知及び流域の浸水監視体制の強化
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定支援と避難の実効性確保等



(藤井寺市)まごまちごとハザードマップ



(三郷町)掘削土を利用した広域防災拠点整備

大和川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～大阪・奈良の歴史・文化を守り、持続可能な経済発展を支える治水対策の推進～



拡大

令和3年3月策定「大和川水系流域治水プロジェクト」

詳しくは、大和川河川事務所ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/about/project/index.html>

洪水をより安全に流す対策

大阪・奈良の都市基盤を守るために洪水はん濫を抑制する対策を進めています。

治水対策事業

(堤防整備、掘削)

堤防の整備により、洪水に対する安全性の向上を進めています。

また、河道掘削、河畔林の管理を進めることで、洪水を安全に流下させやすくします。

洪水とは

台風や前線によって流域に大雨が降った場合、その水は河道に集まり、川を流れる水の量が急激に増大します。このような現象を洪水といいます。一般には川から水があふれ、はん濫(はんらん)することを洪水と呼びますが、河川管理上は氾濫を併わなくても洪水と呼びます。

堤防整備 (大和川国分市場地区)



整備前



整備後

河道掘削 (大和川藤井地区)



施工前



施工後

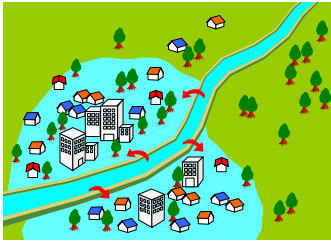
洪水を貯める対策

流域全体が一丸となって、水を貯える設備をつくることで、
河川に流れ込む洪水を減らす対策を進めています。

大和川遊水地整備

洪水を貯留し下流へ流れる水量を一時的に減らす役割をもつ**遊水地整備**を進めています。

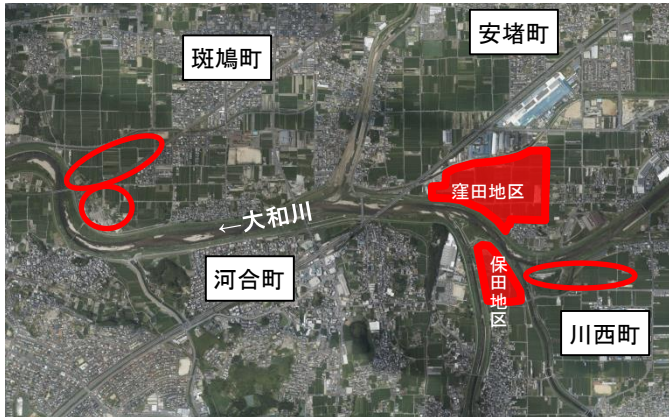
●遊水地整備



洪水時、堤防から洪水が溢れ、
浸水被害が発生します。



洪水を遊水地に貯めることで、堤防
から洪水が溢れにくくなります。



奈良県内の河川改修（河道掘削等）を進めるため、上記範囲に遊水地を整備する計画です。
今年度は保田地区の整備を進めるとともに、窪田地区の整備に着手していきます。

総合治水対策

「治水対策」に加え、「流域対策」の両面から洪水被害の軽減を図る**総合治水対策**を進めています。

●総合治水対策



流域の力を結集して大きな力に！ 大和川流域総合治水対策協議会

「大和川流域総合治水対策協議会（昭和58年2月設立）」を設置し、今までに計31回開催。国、奈良県、奈良県内の24市町村が一体となって、総合治水対策に取り組んでいます。



奈良県知事、流域市町村長等が一同に会して討議を行います

高規格堤防の整備

日本経済を支える中枢都市を洪水による
壊滅的被害から守る対策を進めています。



R3年6月撮影

三宝地区まちづくり事業範囲
南島換気所から下流側を撮影

高規格堤防整備

高規格堤防は想定を上回る洪水に対しても決壊しない堤防です。堤防が決壊すると甚大な人的被害が発生する可能性が高い区間において整備を進めています。

高規格堤防整備事業は、防災都市の基盤づくりを力強くサポートするとともに、水辺の空間を活かした快適な住環境を創造し、治水・防災・環境整備・土地開発に役立ちます。



大和川をよりよくしていくために



堤防強化対策、堤防の地震津波対策

洪水発生時の被害を最小限に抑えるための対策を進めています。

粘り強い堤防

越水等が発生した場合においても、堤防の決壊リスクを低減させるため、堤防の裏法尻部分をブロックで補強し、深掘れの進行を遅らせるなど、粘り強い堤防の整備を進めています。



地震・津波対策

地震対策として、液状化対策や構造物の補強など必要な対策を進めています。

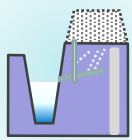
津波対策として、被害を防止する対策を行うほか、避難誘導の確立やまちづくり等と一体となった減災対策を関係地方公共団体と連携して進めています。



昭和57年水害の記憶

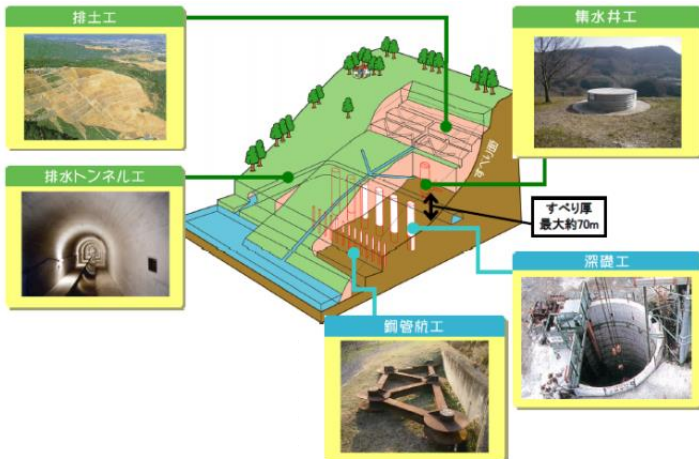
昭和57年8月に大和川戦後最大の
水害が起こりました。

- 被害状況（奈良県内）
死者行方不明者16名
浸水家屋1万2000戸以上



地すべり対策

亀の瀬の地すべりを発生させないための対策を進めています。



地すべり対策

地すべり対策として、地すべり運動を自然条件を変化させることにより停止もしくは緩和させる抑制工と、構造物の抵抗力により止める抑止工があります。

抑制工として、地すべりの原因となる土砂を取り除く排土工、地下水を速やかに地すべり地外に排出する集水井工、排水トンネル工などを実施しています。

また、抑止工として、すべり面下の地層まで杭を配置する鋼管杭工、深礎工を実施しています。



ソフト対策の推進

洪水発生時の被害を最小限に抑えるため、避難行動支援などのソフト対策を進めています。

防災

大雨の時、こんなこと思ったことありませんか？

リアルタイムで情報が知りたい

川が氾濫しないかな？

気象や災害情報をまとめて見たい

もし氾濫した時、自分の地域はどうなるの？



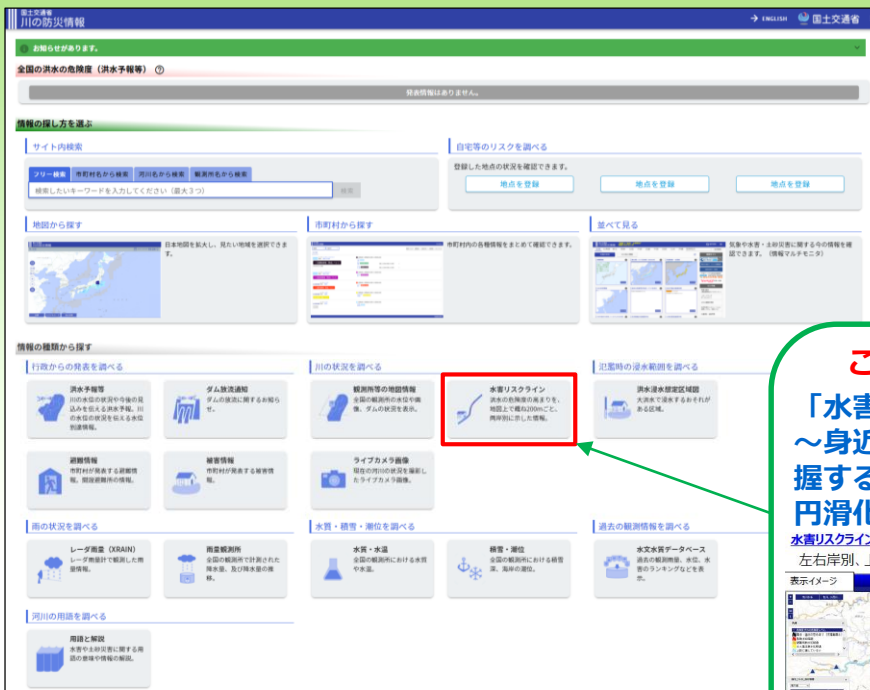
その疑問、「見る」ことができます！

川の防災情報

～洪水の危険度を的確に伝え、主体的な避難を促進～

予警報、レーダ雨量全国の川の水位や洪水、河川カメラ画像などをリアルタイムで提供している「川の防災情報」ウェブサイトが令和3年3月23日に全面リニューアルし、大雨時に必要となる川の情報をより分かりやすく、見つけやすくなりました。

「川の防災情報」WEB画面



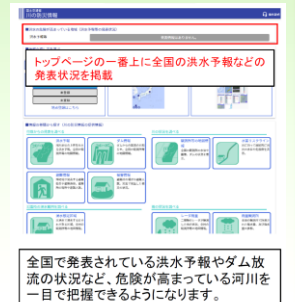
地図を操作して調べたい情報を検索



身近な地点の情報に簡単にアクセス



全国の洪水の危険度を一目で確認



ここに注目！

「水害リスクライン」～身近な箇所の危険度を把握することで、防災行動を円滑化～

水害リスクラインを適用した洪水予報・危険度の表示
左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



詳しくは、国土交通省 水管理・国土保全のウェブサイトをご覧ください。

●川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>

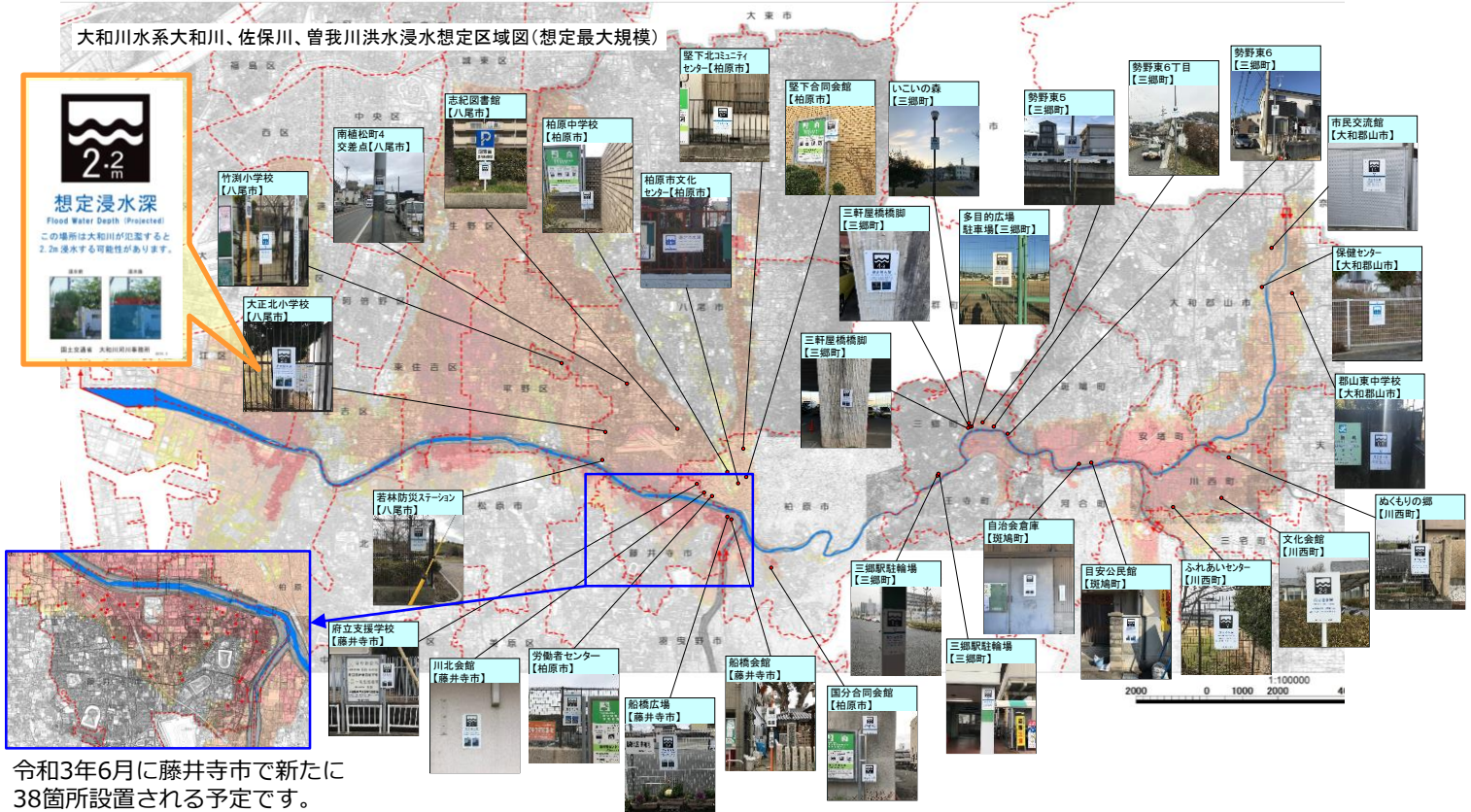


大和川をよりよくしていくために

まるごとまちごとハザードマップ

当事務所、沿川自治体が連携し、まちなかへの洪水標識や避難所標識（まるごとまちごとハザードマップ）の取り組みを推進しています。

まるごとまちごとハザードマップ位置図



令和3年6月に藤井寺市で新たに38箇所設置される予定です。

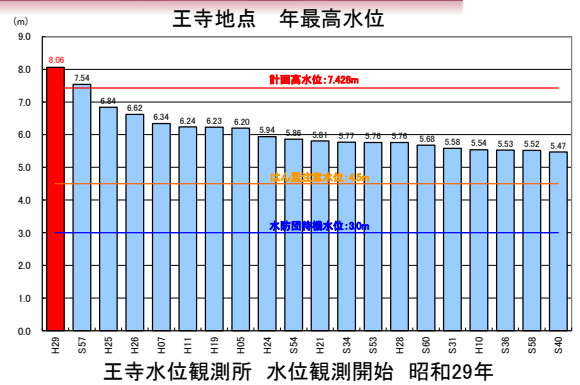
まるごとまちごとハザードマップ設置箇所（令和3年4月現在）

平成29年10月に大規模な洪水が発生しました

22日の夜から23日の未明にかけ、台風21号の北上に伴い、大和川流域では、最大1時間降水量約20mm、柏原上流域平均累加雨量で約260mmを記録し、遠里小野、藤井、王寺及び河合の水位観測所では、計画高水位を超過。柏原市、王寺町、三郷町においては、溢水が発生し家屋浸水や道路などが発生しました。

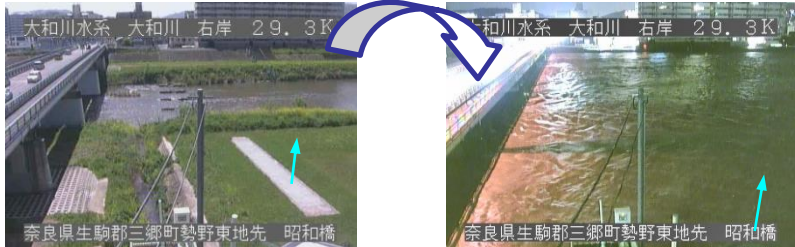
<雨量及び水位>

- ・ 柏原上流流域平均12時間雨量 150.5mm (観測史上最高)
- ・ 大和川 王寺観測所水位 8.06m (観測史上最高)



平常時の大和川（王寺町久度付近）

台風21号洪水時（10/23 1:20頃）



大和川河川事務所の管理区間の沿川では、柏原市、三郷町、川西市、三宅町、王寺町、河合町で避難指示（緊急）、大和市、堺市、八尾市、松原市、藤井寺市、大和郡山市、斑鳩町、安堵町、広陵町で避難勧告、奈良市で避難準備・高齢者等避難開始が発令されました。

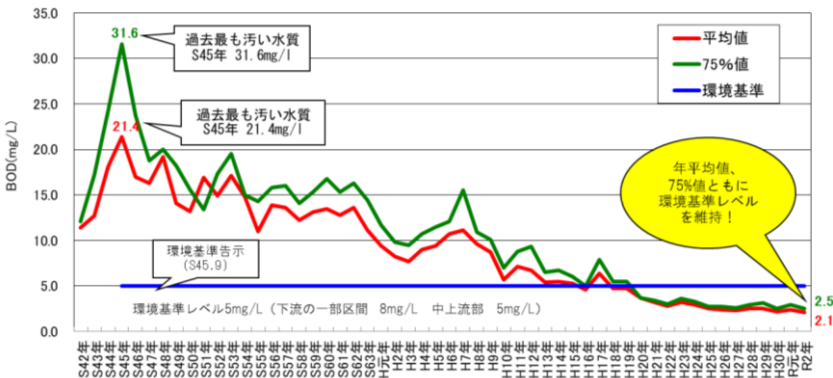
地域の皆さんに誇りと思ってもらえるように

水環境整備

「遊べる大和川」「生きものにやさしい大和川」「地域で育む大和川」を目指すために。

大和川の水質経年変化

昭和30年頃まで良好であった大和川の水質は、昭和40年代に入り、高度経済成長とともに悪化しました。その後、流域の下水道整備や、生活排水の汚れを少なくするといった人々の意識の高まりと努力により大和川の水質は大幅に改善されました。



大和川にアユが生息？

大和川は昭和30年頃まで、大阪湾から天然アユが遡上していました。昭和40年代に入り、水質が悪化し、天然アユが姿を消しました。その後、魚道などの整備や大和川の水質の大幅な改善に伴い、天然アユの遡上と産卵が確認されています。今後も、この回復の兆しを絶やすことなく、多様な生物を育む河川環境の保全、再生に取り組んでいきます。



アユの仔魚
撮影：平成25年5月

奈良県で見つかった天然アユ

大和川の再生を目指して！ 大和川の水環境協議会の設立

大和川においては、「大和川水質汚濁防止協議会」、「大和川清流ルネッサンス協議会」を設立し、それぞれ工業排水と生活排水を対象としての水質改善に向け取り組んできました。

両協議会を平成17年9月に統合し「大和川水環境協議会」を設立しました。

水環境協議会では、関係機関等が連携・協働し、情報の交流、啓蒙活動、各種対策の調整を行っています。

構成機関：近畿地方整備局、大阪府、奈良県
【39機関】流域36市町村



協議会の様子

環境改善活動

大和川水環境協議会において、関係機関との連携を強化・活性化し、更なる水質改善に努めています。

また、大和川の水環境改善のために「大和川クリーンキャンペーン」を展開して啓発に努めています。



水質改善強化月間街頭啓発



大和川博士講座

地域の皆さんに誇りと思ってもらえるように

かわまちづくり

自転車での移動がしやすくなります！～堺市かわまちづくり～

堺市のまちづくりと連携し、「自転車のまち・堺」にふさわしい魅力ある水辺空間を創出し、水辺の利用促進を図ります。
一部未整備となっている堤防天端の管理用通路を整備することにより、世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」などの観光資源や広域自転車ルートとつながることができ、広域的な回遊性の向上が見込まれます。



水生生物調査実施しています。

昨年度に引き続き今年度も大和川河川事務所が管理している一級河川の区間において、9～10月にかけて、小学生を主として水生生物調査を実施しています。



調査は、河川に生息する水生生物を指標として水質を判定するものです。併せて有識者による生き物解説や、挙手による「感覚指標」を調査しています。実際に川の中に入って、参加者のみなさんに調査していただくもので、身近な自然に接することにより環境問題への関心を高める良い機会となっています。



有識者による生き物解説



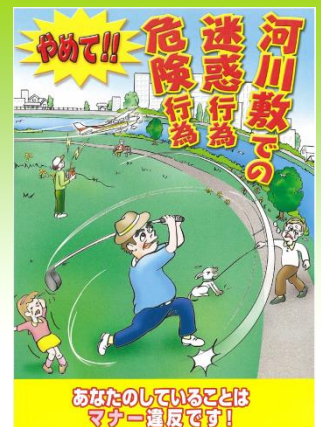
挙手による感覚指標の調査

不法行為・迷惑行為（ゴルフ、ラジコン、花火）

河川敷はみんなのもの！ルールとマナーを守りましょう！

河川敷はいこいの場所です。一部の身勝手な人が振り回すゴルフクラブやボールはまわりの人にケガをさせる凶器になります。また、指定された場所以外で飛ばすラジコン飛行機も、まわりの人にぶつかる大変危険です。打ち上げ花火は近くに住んでいる人たちにとっては、騒音公害になります。

また、不法投棄等の悪質な行為に対しては、河川巡視による監視を行うとともに、関係機関との連携を図り適切な対応を行っています。



事務所職員の仕事

～さまざまな人と協力しながら仕事を行っています～



大和川をつくる、なおす

より安全な大和川となるよう工事を実施し、被災した場所を早期に復旧にするために。

工事の流れ



洪水による被災
(平成25年 曾我川)



復旧作業



工事施工

工事を発注し、建設会社と契約します。その後、工事がきちんと進んでいるか、できているかを監督します。



設計業者との打合わせ状況

測量・調査・設計

- 工事予定地の現況測量をおこないます。
- ボーリングによる土質の調査を行ったりする場合があります。
- 工事に必要な設計図を作成します。経済性・施工性・安全性を考慮しながら施工方法を決定し、工事図面を作成していきます。



復旧完了



大和川をまもっているひと

施設の老朽化や不具合等を早期に発見して機能の低下防止を図るために。



巡視車輜による巡視



河川構造物の点検

河川巡視

堤防や樋門などに異常がないか、水質事故や不法投棄が発生していないかなど、河川を定期的に見回ります。

河川管理施設の点検

樋門やカメラなど、機械設備の損傷や劣化等のチェックや、動作設備について点検を実施し、河川管理施設の機能性、安全性等の確認を行います。

河川測量、水質観測

河川の形状を定期的に計測し、形状の変化の有無や洪水時の水位上昇量などを調べます。

河川の水質を観測し、水質の状況の変化を調べます。

堤防除草作業

外観点検による堤防の状態の把握、堤防法面に繁殖する雑草の根の腐敗による堤防の弱体化の防止等を目的として、堤防除草を適宜、実施しています。

大和川河川事務所では、万が一堤防が被災した場合にその原因究明と被害発生回避に資するため、学識者からなる『大和川堤防調査委員会』を設置しています。



(H26.8.29)

委員による堤防開削断面の現地調査を行うとともに、堤防の耐震対策や液状化対策、河道の土砂管理について、助言をいただきました。

堺市南島地区において、旧樋門の撤去に伴う堤防開削断面の現地調査を行いました。



(H26.8.29)

日頃から大和川の堤防や河道の状況を共有するとともに、技術的な対話を行うことで、いざというときの備えを強化しています。

事務所職員の仕事

～さまざまな人と協力しながら仕事を行っています～



洪水からまもる！洪水時の防災活動

流域内人口約215万人、氾濫区域内人口約300万人の方々が暮らす
大阪・奈良の都市基盤を守るために。

洪水予報、水防活動の支援

洪水が発生した場合には、情報をリアルタイムで収集、数時間後の水位を予測し関係市町村等へ連絡、また河川を巡視し危険な箇所がないかを確認します。

必要に応じて、自治体の水防活動が円滑に行われるよう支援します。

また、洪水のほか、地震、地すべり水質事故の発生時等にも、迅速に情報収集する体制をとっています。

水防団体等への水防資材の保管・提供も行っています。



災害対策室で洪水対応にあたります

積み土のうによる水防活動支援



洪水時に河川に異常がないか巡視



大和川から被災地へ出動！TEC-FORCE

大規模災害が発生した場合には、全国各地の被災地に出動し
災害復旧活動を展開。

TEC-FORCE

TEC-FORCEとは国土交通省が作っている全国組織で、大規模な災害が発生した際に、被災地の迅速な復旧を支援するため、全国からその被災地に集結する、災害復旧対応のプロフェッショナルチームです。当事務所においても、大規模災害発生時には隊員を派遣し被災地での活動を展開しています。



ドローンによる写真撮影（宮古市）

平成28年台風10号の東北豪雨災害におけるTEC-FORCEの活動

▼河川の被災状況（河川班）



▼道路の被災状況（道路班）



▼災对本部車での情報収集作業



流域住民との交流・連携

大和川が人々に愛され、地域の誇りとなるために。

流域住民とのパートナーシップ

産学官民の連携を目指し大和川で活動する方々との交流の場を設け、ネットワークづくりに取り組んでいます。

清掃活動

行政と住民や民間など流域一体となった協力体制のもと、河川敷の清掃を行っています。



令和元年5月

学官民が連携した「水辺の楽校」における水辺まつり(写真は魚とり体験の様子)



清掃の様子(大阪府八尾市)



清掃の様子(奈良県王寺町)



令和3年2月

第36回大和川コンクールの作品展示の様子(イオンモール堺北花田)

1万3千人による大和川の「大掃除」

大和川河川事務所では、7月の河川愛護月間の取り組みとして毎年7月の第2土曜日を「大和川クリーンデー」とし、河川公園を占用している沿川自治体から協力をいただいて清掃活動を行っています。毎年7月中に流域全体で一斉清掃を行い、多くの住民の方に参加して頂いております。令和2年度の「大和川クリーンデー」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。

また、例年3月第1日曜日に大阪府・奈良県大和川流域の皆様にご協力いただきまして一斉清掃『大和川・石川クリーン作戦』『大和川一斉清掃』につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。

今後ごみ発生抑制のための啓発活動や美化活動を行い、流域住民や民間事業者、関係機関と協力し河川環境改善に努めて参ります。



当事務所では引き続き河川美化に取り組んで参ります。

CDST(Class Delivery Service Team:出前講座)

大和川の概要・川の水質の話・亀の瀬地すべりの話等について、楽しく・わかりやすく説明する出前講座に取り組んでいます。

みんなの学校へ行きますよ！

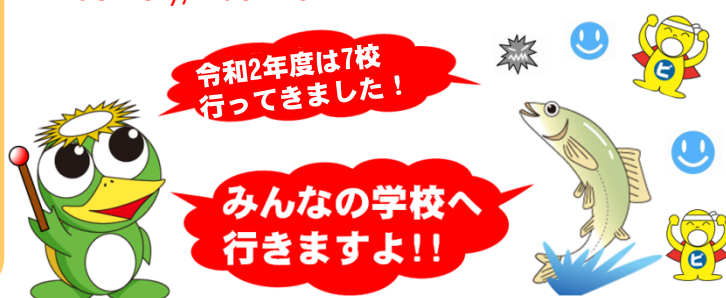
出前講座では、大和川の概要をはじめ、治水や歴史（付け替え）、環境分野では水質、生きものやゴミ問題などのお話し、そして水の汚れを調べる簡単な実験（バックテスト）を体験してもらいます。



河川環境教育支援活動として 大和川河川事務所職員による 出前講座を募集しています！

ひとりでも多くの方に大和川を知っていただき、そして大和川をきれいにするために取り組んでいただくことを目的に、直接皆様のもとに出向き説明する出前講座を実施しています。

詳しくは大和川河川事務所
出前講座担当窓口まで (代) 072-971-1381
<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/about/study/delivery/index.html>



工事現場見学（魅せる現場）

亀の瀬地すべり対策と、高規格堤防（スーパー堤防）の工事現場の見学が行えます。

近畿地方整備局では一般の方を対象に通常は立ち入りを制限している工事現場等の見学を実施しています。見学会の対象は、近畿地方整備局HPにて公開しております『魅せる！現場』（<http://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/>）でご確認できます。当事務所では亀の瀬地すべり対策と、高規格堤防（スーパー堤防）の工事現場の見学が可能です。

- 平成29年3月24日に、2016年度「亀の瀬地すべり見学」の来場者が2,000人を達成しました。



- 土木の日関連イベント 令和元年11月16日の「地すべり見学」の様子



見学会の様子



模型やパネルを使った紹介

祝！亀の瀬日本遺産登録

令和2年に奈良県三郷町と大阪府柏原市が申請していた、地域の宝「龍田古道」と「亀の瀬」が日本遺産に認定されました！！

全国有数の地すべり地帯でもある「亀の瀬」を通る「龍田古道」。これら歴史的資源のつながりと古（いにしえ）よりつづく、壮大なストーリーが日本の伝統・文化として語り継ぐべきストーリーとして、日本遺産の認定を受けました。

三郷町・柏原市と連携しインフラツーリズムなど地域活性化の支援を進めます。



旧大阪鉄道亀瀬隧道

亀の瀬の地すべり見学については、下記の当事務所HPでもご覧いただけます。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/guide/landslide/index.html>



大規模な洪水に備えて

社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目指します。

大和川大規模氾濫に関する減災対策協議会

平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、大和川流域においても、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を目指し、大和川大規模氾濫に関する減災対策協議会を平成28年4月に設立しました。

昨年度は、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨で全国的に甚大な被害を受けたことをふまえ、河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で被害を軽減させる「流域治水」を進めるため、流域治水部会を設けました。

今年度は、マイタイムラインや要配慮者利用施設の避難計画作成、避難訓練の促進などを進めて参ります。

- 大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会
構成メンバー：大和川河川事務所、大阪管区气象台、大阪府、沿川8市、水防事務組合、鉄道事業者
- 大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会
構成メンバー：大和川河川事務所、奈良地方气象台、奈良県、流域10市13町1村、鉄道事業者

詳しくは、大和川事務所HPでご覧いただけます。

http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/prepare/disaster/disa_06.html

「水防災意識社会」再構築ビジョン



第7回大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会及び第3回大和川上流部流域治水部会（令和3年3月2日）オンラインによるWEB会議システム

大和川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

5年間で達成すべき目標

近畿最大の大阪都市圏に拡散する大和川下流部の大規模水害に対して、「迅速、的確かつ主体的な広域避難」と「水害に強い都市への再構築」を目指します。

目標達成に向けた3本柱

上記目標達成に向け、大和川下流部において戦後最大となる昭和57年洪水と同規模洪水を安全に流すことを目的として、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の項目を3本柱とした取組を実施します。

- （避難）広範囲の浸水に対して迅速、的確かつ主体的な広域避難行動のための取組み
- （防ぐ）一秒でも長い避難時間の確保のための水防活動実現への取組み
- （回復）氾濫による社会経済被害の軽減、早期回復を可能とする水害に強い都市の再構築のための取組み

大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

5年間で達成すべき目標

水位上昇が特に早い大和川上流部の特性を踏まえ、大規模水害に対して、「迅速、的確かつ主体的な避難」と、「確実な水防対応」ができる地域社会を目指します。

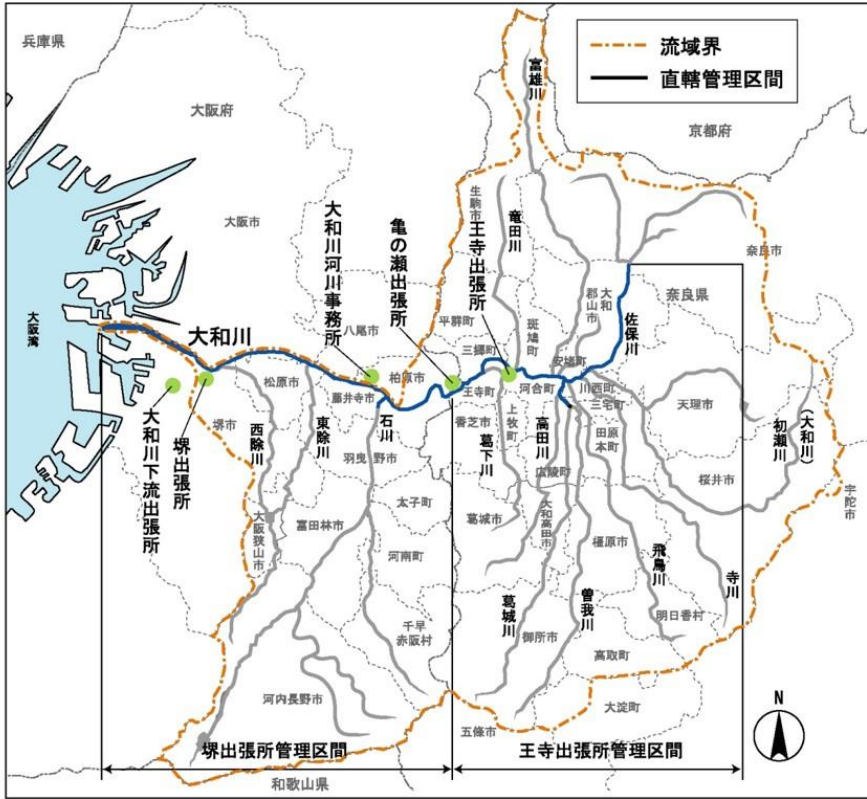
目標達成に向けた3本柱

上記目標達成に向け、大和川上流部において昭和57年水害の再度災害防止を目的として、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策、及び流域全体で実施する総合治水対策に加え、以下の項目を3本柱とした取組を実施します。

- （避難）急激な水位上昇及び浸水に対して迅速、的確かつ主体的な避難行動のための取組み
- （防ぐ）一秒でも長い避難時間の確保のための水防活動実現への取組み
- （回復）氾濫による社会経済被害の軽減、早期回復を可能とする取組み

大和川河川事務所の管理区間、組織

■大和川流域図



■大和川河川事務所が管理する区間・区域

●直轄管理区間（河川）

河川名	区間	延長	告示の番号及び年月日
大和川	奈良県磯城郡川西町大字吐田字幸エ門裏970番地先〔吐田井堰下流端〕から海に至る	37.6km	建設省告示第897号 昭和41年3月28日
石川	大阪府藤井寺市国府2丁目92番の1地先〔府道石川橋下流端〕から大和川への合流点	0.8km	〃
曾我川	奈良県北葛城郡広陵町字大場129番の3地先〔県道小柳橋下流端〕から大和川への合流点	1.9km	〃
佐保川	秋篠川の合流点から大和川への合流点	8.0km	建設省告示第396号 昭和46年3月20日
計		48.3km	

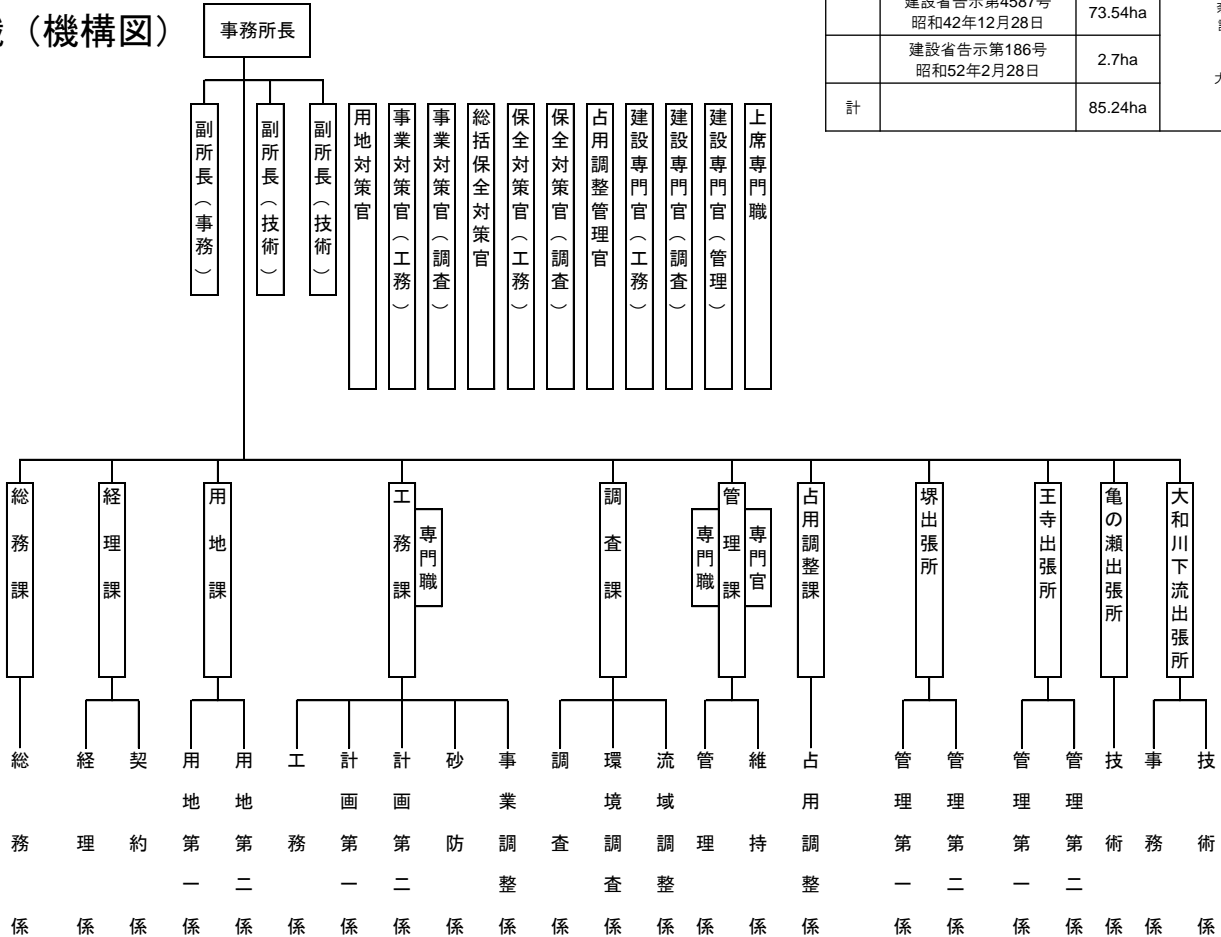
●高規格堤防整備区間

河川名	区間		備考
	自	至	
大和川	阪神高速湾岸線橋梁付近	南海高野線橋梁付近	国土治第71号 平成24年9月3日

●直轄施工区域（地すべり）

地域名	告示の番号及び年月日	面積	備考
大和川	建設省告示第1415号 昭和37年6月1日	9.0ha	地すべり防止区域 大阪府 85.24ha 奈良県 9.05ha 計 94.29ha
	建設省告示第4587号 昭和42年12月28日	73.54ha	
	建設省告示第186号 昭和52年2月28日	2.7ha	
計		85.24ha	直轄施工区域 大阪府 85.24ha

■組織（機構図）



大和川河川事務所の所在地

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所



〒582-0009
大阪府柏原市大正2丁目10番8号
TEL / 072-971-1381 (代) FAX / 072-973-1480

●王寺出張所

大和川（奈良県域）・佐保川および曾我川の直轄管理区間における各種申請窓口



〒636-0002 奈良県北葛城郡王寺町王寺1-13-8
TEL/0745-73-6571 FAX/0745-72-1498

●堺出張所

大和川（大阪府域）および石川の直轄管理区間における各種申請窓口



〒590-0011 大阪府堺市堺区香ヶ丘町5-9-30
TEL/072-227-7160 FAX/072-229-9328

●大和川下流出張所



〒590-0079 大阪府堺市堺区新町3-7
STCビル6階
TEL/072-232-3431 FAX/072-232-3441

●亀の瀬出張所



〒582-0013 大阪府柏原市大字峠
TEL/072-979-0719 FAX/072-979-0761

くわしい情報は 大和川河川事務所HPをご覧ください

大和川河川事務所では、インターネットによる情報提供を行っています。防災情報、事業紹介、流域のイベント情報など大和川に関する情報が盛りだくさんです。



防災情報

大和川の水環境

大和川について

事業案内、事務所紹介

流域の活動報告

入札、契約の情報

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/> または、

大和川河川事務所

検索

Click

防災情報の提供はこちら

●川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>

行政からの発表を調べる

：洪水予報等、ダム放流通知、避難情報、被害情報

川の状況を調べる

：観測所等の地図情報、水害リスクライン、ライブカメラ画像

氾濫時の浸水範囲を調べる

：洪水浸水想定区域図

雨の状況を調べる

：レーダ雨量（XRAIN）、雨量観測所

